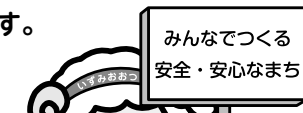




本市は国際認証制度であるセーフコミュニティ認証の取得を目指しています。

セーフコミュニティいずみおおつ



第21回

SCの「縁の下の力持ち」！ 外傷サーベイランス委員会



▶外傷サーベイランス委員会とは？

泉大津市セーフコミュニティでは、6つの取組分野に対応する対策委員会の他に「外傷サーベイランス委員会」が設置されています。

外傷サーベイランスとは、けがなどの発生状況を継続的に監視し、対策のためのデータを収集・分析することです。

外傷サーベイランス委員会で収集・分析したデータは、6つの対策委員会に提供されます。

セーフコミュニティでは、データなどの根拠に基づいた取組みが求められるため、外傷サーベイランス委員会は各対策を進める上でも重要な役割を果たしています。

外傷サーベイランス委員会

- ・警察署 ・消防本部 ・保健所
- ・労働基準監督署 ・医師会など

- ・データの提供
- ・取組みの助言



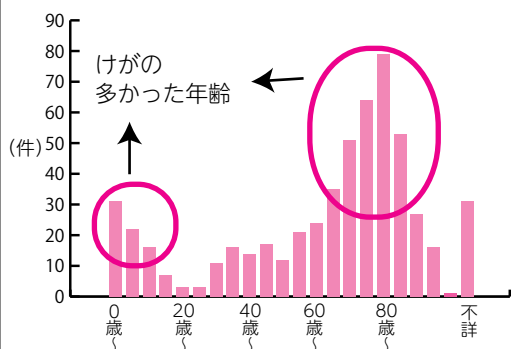
- ・データの提供依頼
- ・活動の報告

対策委員会

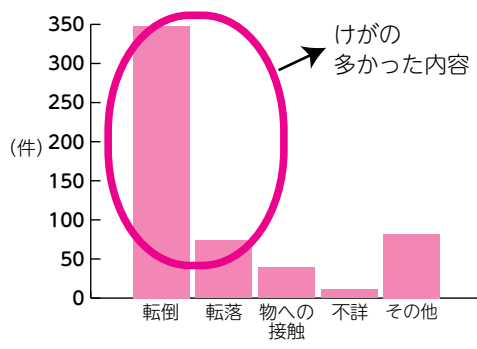
- ・交通安全 ・子どもの安全
- ・高齢者の安全 ・自殺予防
- ・犯罪防止 ・災害安全

外傷サーベイランス委員会が出すデータって？それと対策委員会がどう関係があるの？

■けがの年齢層別の件数



■けがの原因別の件数



👉グラフからわかること

けがによる救急搬送で運ばれる人は高齢者や子どもが多く、けがの原因では転倒・転落が圧倒的に多くなっている。

※いずれも救急搬送データ(2013年)より

ここから導き出した課題は

子どもと高齢者に転倒・転落のけが多い！！

これに対する取組みとして現在、高齢者の安全対策委員会では「転倒防止お助けマップ」の作成に取り組んでいます。これは、上記のような外傷サーベイランス委員会からのデータや対策委員会の委員が街に出向いて取材した内容に基づき、高齢者の転倒予防を啓発するパンフレットを作成するものです。

また、子どもの安全対策委員会でも家庭内のけが予防マップの作成を検討しています。

※上記の取組みは予定ですので変更となる場合があります。

外傷サーベイランス委員会は対策委員会と連携する大切なもの！

上記のように、外傷サーベイランス委員会と対策委員会が連携することで、地域の課題を見つけ出すことができ、セーフコミュニティ活動は進んでいきます！